

Voice **ボイス** 横浜市議員 [青葉区] **山下正人**

2017年(平成29年) 市政レポート



City Councilor
10th
お陰様で市会議員10周年

第33回全国都市緑化よこはまフェア開幕
緑を豊かにする施策として、自民党市議団が長きに渡って取り組んできました。
やっと要望が実現し、感無量です！
『美しい花と緑豊かなまち横浜』を、どんどん発信していきます。

横浜市の予算、合計3兆5千億円が成立しました。
財政の健全化は、出づるを制す！
次世代には負わせない。

財政の健全化は、出づるを制す！

▶ 2017年

平成29年度 横浜市の予算が成立しました。

横浜市の総人口数は、
3,731,096人。
青葉区の人口は、
310,499人。
横浜18区の中で
2番目です。



合計3兆5千億円の膨大な予算が執行されます。

一般会計16,459億円。
特別会計13,448億円。
公営企業会計5,801億円。



平成29年度予算特別委員会にて質疑しました。

予算第二特別委員会局別審査
(温暖化対策統括本部・環境創造局関係) / 3月8日

予算第二特別委員会局別審査(財政局関係) / 3月10日

横浜市会インターネット中継 検索



このQRコードで読み込めます。

平成29年度予算の主な特徴・課題

ポイント! 29年度の予算は3兆5千億。
山下正人が注目するのは、次の3点!!

1. 教職員人件費(約1,500億円)が横浜市に移管されました。

今までは先生達の人件費は神奈川県が支払い、人事は横浜市が決めていました。この事は雇用と人事に不具合を起こし、市の学校支援に困難がありました。今年度は制度の変更を受けて、横浜の課題解決を一步進める事が出来たと考えます。特に、私が従来から課題視していた障害児童の支援に教員を増員できました。



2. 扶助費の増加による財政の硬直化。

保育園の運営費等の待機児童対策(約1,500億円)、生活保護費(約1,300億円)など被扶助者に対する費用が年々増加し、財政が硬直化していることが大きな課題です。義務的経費は全体の60%を超える状況になっています。委員会の度に何度か言っていますが、次世代に責任ある財政の組替えも視野に入れるべきです。



3. 2020年のオリンピックに向けて。

2020年を目途に横浜市環境・経済・観光政策等を充実・強化させます。前年の2019年はラグビーのW杯決勝が日産スタジアムで開催され、2年続けて世界の注目を浴びることでしょう。この機会を活かして、横浜市の水素政策等の環境未来都市のアピールや横浜の魅力をどんどん発信し、リピーター観光客の誘致等チャンスを活かす政策を推進することが求められます。



1. 不必要な随意契約の改善を要求。

下水処理場などのプラント設備において、競争入札でなく随意契約が常態化しています。この事で、年間数十億円の契約が大手重電メーカー数社で寡占化しています。今回の予算審議で、この件を見直すことを強く求めました。プラント建設は大手しか出来ませんが、その後のメンテナンスや一部の更新工事は市内中小企業でも可能です。企業の育成、技術の進歩の為に随契は止めるべきです。



よこはま企業

2. 横浜らしい温暖化対策を提案。

環境未来都市の横浜の名にふさわしく、世界的な課題であるCO2の削減に積極的な取り組みを期待。例えば、道路灯のLED化などもIoT技術を導入してより高度な省エネ事業を提案しました。そもそも水俣条約により、2020年以降は水銀灯の生産は出来ません。イニシャルコストはかかりますが、この機会に一気に変更すべきだと思います。

3. 持続可能な財政運営を提言。

少子高齢化社会が目前に迫り、今と同様の事業を継続することは不可能です。事業の費用対効果を精査して予算執行をすべきと提言。例えば、「敬老バス事業」本来の事業目的は高齢者の外出支援。しかし横浜市は事業結果の評価が出来ていません。また、高齢者の健康増進が目的の「ウォーキングポイント事業」に逆行しないか?などの疑問点も浮かびます。そもそもの大義は「健康で長生き」のはずです。原点を再確認の上、事業執行すべきです。

第33回全国都市緑化よこはまフェア ガーデンネックレス横浜 2017

2017年3月25日(土)～6月4日(日) ※72日間

緑のある豊かな生活の普及啓発を目的として、昭和58年から全国にて毎年開催される祭典です。



▲全国都市緑化よこはまフェアのカウントダウン
セレモニーを市庁舎前で行いました。

数年にわたり自民党市議団で誘致に取り組んできた都市緑化フェアが開幕しました。28年度は、このフェアを所管する環境創造局の常任委員会の委員長を務めました。本年の3月25日に開幕を迎えたことは、本当に感慨深いものがあります。

私もここ数年、東京・鳥取・静岡・愛知と毎年持ち回りで開催されるフェアを視察してきました。各都市それぞれに思いや特徴がありました。そうした良いところを参考にさせて頂き、第33回は横浜らしいフェアになったと思います。



横浜を緑豊かな美しい街へ!!

横浜市は全国的にも注目された「みどり税」を市民の皆様にご負担いただいています。(年間900円) その成果もあり、都市部において珍しく緑地が維持されています。市民意識調査でも、緑地の保全を求める声は大きく、今回の緑化フェアが横浜市民の緑地政策の更なる意識向上に寄与することを期待します。

主会場は山下公園・港の見える丘公園を中心とした「みなとガーデン」と、ズーラシア隣の「里山ガーデン」です。その他にも市内各所で花とみどりが溢れます。各会場ではイメージキャラクターの「ガーデンベア」が出迎えてくれます。72日間のイベントですので是非ご来場ください。



山下正人プロフィール

昭和39年8月生まれ。同志社大学商学部卒業。セコム株式会社、ソニー生命保険株式会社を経て、平成19年4月横浜市議員初当選。以降3期連続当選。元荏子田小学校 PTA会長。

横浜市議員 山下正人事務所

〒225-0002 横浜市青葉区美しが丘 5-1-5-210 電話 . 045-905-5006 FAX. 045-905-5009
E-mail : myoffice@m01.itscom.net <http://www.yamashitamasato.com>